

1. 件 名「リサイクル燃料備蓄センターの使用済燃料貯蔵事業変更許可申請に係る新規制基準適合性審査（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事業者ヒアリング（3）」

2. 日 時：令和4年7月6日（水）13時30分～14時15分

3. 場 所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門：

岩田安全管理調査官、三井上席安全審査官、佐藤主任安全審査官、
中村主任安全審査官、永井主任安全審査官、大井安全審査専門職

リサイクル燃料貯蔵株式会社 むつ本社：

赤坂常務取締役 リサイクル燃料備蓄センター長 他1名※

同 東京事務所：

品質保証部長 兼 安全審査担当 1名※

同 東京事務所：

貯蔵保全部 土木建築担当 2名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料：

・資料1 リサイクル燃料備蓄センター使用済燃料貯蔵事業変更許可申請標準応答スペクトルを考慮した評価について（基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価）

・資料2 リサイクル燃料備蓄センター使用済燃料貯蔵事業変更許可申請新知見の反映について

・資料3 リサイクル燃料備蓄センター使用済燃料貯蔵事業変更許可申請指摘事項一覧表

時間	自動文字起こし結果
0:00:05	はいお疲れ様です規制庁のイワタですけれども、
0:00:08	準備がよければですね、ヒアリング始めたいと思いますがよろしいでしょうか。
0:00:15	はい。昨年はこちら準備、大丈夫です。普通、もうサイグサも大丈夫ですね。はい。
0:00:23	はい。
0:00:24	いやこれからちょっと始めさせていただきます。よろしく申し上げます。
0:00:32	はい、じゃあよろしく申し上げます。リサイクル燃料貯蔵タケウチでございます。本日はですね、衛藤先日の審査会合を受けまして、新たに追加された基準地震動に関して、
0:00:45	基礎地盤安定性解析、それから、以前実施しておりました液状化の検討、この結果についてご説明するとともに、前回の審査会合でいただきました。
0:00:57	火山であるA3の火山ですね、これについての産総研の知見について、その影響についてご説明したいと思います。それではまず基準地震動に関する地盤安定性解析と、
0:01:09	液状化の検討について説明をいたします。資料1をお願いします。
0:01:15	まず1ページでございます。で、ここでは前回の、以前の許可の内容について、若干記載をしております、
0:01:26	敷地に影響の赤津将来活動する可能性のある断層と、それから、横浜断層の地殻変動による地盤の傾斜、
0:01:36	それからS s B4までの基準地震動に対して、基礎地盤の滑り基礎の支持力、基礎底面の傾斜ということについて確認を行っていずれも問題ないことを、結果で、
0:01:50	説明してございます。今回は新たに追加いたしましたS s - D5について、同様の3種類の検討について確認いたしましたので、本日説明をさせていただきます。
0:02:03	それでは、3ページをお願いします。
0:02:07	ここでは、評価方針を記載してございますが、この内容につきましては休暇と同意を、同じ内容で記載をしてございます。なお周辺斜面につきましては、
0:02:19	影響から同様、対象となる斜面がないことから評価対象外というふうにしてございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:25	それでは 4 ページをお願いします。
0:02:28	ここでは、評価項目でございますけれども、これにつきましても、変更がないということで同じ内容を前回と同じ内容を、5 ページに、4 ページに記載しております。
0:02:39	5 ページをお願いいたします。
0:02:42	5 ページでは、評価諸元ということで、これについても前回ご説明時と変更はございません。解析断面は、建屋応答直交 2 断面ということにしております。
0:02:56	では 6 ページをお願いします。
0:02:59	今回、入力地震動につきましては、以前、既許可のもの S s - A から S B 4 に加えまして、
0:03:09	一番下段に示しておりますけれども、S s - D 5 というものが追加になっておりまして、これ全体を通して説明を差し上げたいと思います。以上です。
0:03:19	次をお願いします。
0:03:22	それでは、
0:03:24	7 ページの、
0:03:25	滑り安全率能勢算定ということで、
0:03:29	以前計算をいたしました S s - A から S S B 4 H II までのものに加えて、今回 S S B 5 のものを加えて、
0:03:40	黄色の発注をしているところで、数字を示してございます。その結果として、最後の滑り安全率、最初ですいません最初の滑り安全図になるのは、
0:03:52	Y 断面の S S B 湾による 2.1 ということでございまして、既許可のものと生ん最も小さな滑り安全率が、このケースについては変更はございません。
0:04:04	8 ページをお願いします。
0:04:07	それから、前回ご説明した、地盤物性のばらつきでございますけれども、滑り安全率が最も厳しくなるケースが、以前のものでは岩井断面、Y ' 断面の S s - D 湾、
0:04:20	いう 2.1 というものに変化はございませんので、この内容に関する変更はございません。
0:04:27	次のページをお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:30	それから、支持力につきまして算定した結果も同様に、一番右の欄に黄色いハッチングでS B 5の内容を付け加えておりますけれども、
0:04:41	最大の設置は普段のは、S s - Aの
0:04:45	わいわい出す断面の1.37というものでございまして、これについても結果に変更はございません。
0:04:53	20ページをお願いします。
0:04:56	それから、基礎の傾斜でございますけれども、同様に、黄色のハッチングのところで設備を追加しておりますけれども、最大の傾斜が生じるというのはS S B湾による、
0:05:07	x x断面の1万分の1ということでこの結果についても変更はございません。
0:05:12	10ページをお願いします。続きまして液状化の検討でございます。
0:05:18	基礎地盤と基礎地盤と同様に、地下水位の設定等、評価方針、方法については、表から変更はございません。
0:05:30	なお地下水の観測につきましては、昨年3月までの結果を反映して、左下の図に反映してございます。
0:05:38	12ページをお願いいたします。
0:05:41	液状化の検討結果でございますけれども、
0:05:45	S S B 5に対するF L値、これが0.623ということになってございまして、
0:05:53	最大値である0.681というものを下回っております、以前からの検討結果に変更はございません。
0:06:03	13ページをお願いします。
0:06:09	ここではまとめをしております、今回追加をいたしましたS s - D5を含めまして、すべての基準地震動に対して基礎地盤の安定性を確認したと、いうことを記載してございます。
0:06:23	14ページをお願いします。
0:06:25	これは全体の取りまとめを、
0:06:29	記載してございますけど下側の黄色のハッチングで示しております通り、
0:06:37	基礎地盤につきましても、それから、周辺斜面につきましても、既許可での評価からの変更がないということと、確認済みということで記載してございます。
0:06:49	15ページでございますけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:55	16 ページ以降にはですね、参考として S s - D5 に対する、基礎地盤安定性解析の結果のすべての結果を位相反転を含めて、数値を記載してプロットしております。
0:07:08	説明。
0:07:10	短い短いものとしては地盤と液状化に関する説明は以上でございます。
0:07:19	そんなに資料ボリュームがないので続けていただいて結構ですよ。
0:07:23	はい。
0:07:24	はい。
0:07:32	はい。それでは続きまして資料 2 になります。新知見の反映について、火山の影響評価、予算の方、三浦ほか 2022、内容の対応につきまして、ご説明いたします。
0:07:45	101 ページになりますが、こちら、1 月 25 日の審査会合にていただいたコメントになります。
0:07:53	こちら、令和 4 年 3 月 25 日に、産業技術総合研究所、地層構造調査センターより発行された伊勢さん加川指数の許可評価への影響について説明することというコメントをいただいております。
0:08:07	こちらの内容につきまして回答いたします。
0:08:14	はい。続きまして、3 ページ、火山の影響評価結果の概要になります。
0:08:20	今回赤字の部分、A3 火山室、三浦ほか 2022 の総会への影響につきましてご説明いたします。
0:08:33	すいません。飛びまして、6、6 ページになります。
0:08:38	こちら、三浦ほか 2022 の既許可評価への影響についてになります。
0:08:45	三浦ほか 2022 の知見についてですが、まず一つ目は、3 の活動履歴について、古い順に、後期更新世の活動を、
0:08:56	更新世活動期 1、更新世活動期 4 から更新世活動期 1、
0:09:05	完新世の活動を完新世活動期とするとともに、主要噴出物のことの噴出することの年来噴出量、噴出物の面、分布が示されております。
0:09:18	二つ目ですが、約 1 万 1000 年前以降、現在までにかけて、比較的小さい噴火によると考えられる 15 層準の噴火堆積物を再整理しております。
0:09:31	これらによる既許可への影響についてですが、まず一つ目は、企画課 IV 評価における A3 の活動年代に変更はなく、
0:09:40	完新世に活動を行った火山であり、施設に影響をおよぼし得る火山であることに変更がないこと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:46	二つ目ですが、三浦ほか 2022 による浅野線、噴出物の分布は、日本の方、第 3 版、仲野ほか編 2013 と大きな違いはなく、
0:09:59	火山火砕物密度流が施設に影響を要す可能性はないとした、期間評価に変更はないこと。
0:10:07	三つ目ですが、三浦ほか 2022 による、3 の全噴出量は、三浦 T a l l 2013 と大きな違いはなく、
0:10:17	まず 3 における降下火砕物を伴う主要な深さ噴出物のうち、既往最大は、幾何評価と同様に火災堆積物 1、
0:10:27	P S H D ワンであり、既許可評価において検討対象として選定した公開サービスに変更はないという、こちらの 3 点になります。
0:10:39	続きまして、7 ページ、生産の噴出物の分布になります。
0:10:44	左の図が中野ほか編 2013 による 200 万分の 1 地質編集図。
0:10:50	右の図が三浦ほか 2020 による予算火山指数になります。
0:10:56	三浦ほか 2022 による全噴出物の分布は、仲野ほか編 2013 と大きな違いはありません。
0:11:06	いきますと 8 ページ、三浦ほか 2022、内容の反映前の、恵山火山の活動履歴になります。
0:11:14	こちらは、三浦徹 2013 等の参考文献を求め、左下にあります活動履歴、右下にあります、噴出量、年代会談後、
0:11:26	ダイアグラムを作成しております。
0:11:29	最新活動は、1874 年になります。
0:11:33	3 は、完新世に活動を行った方なり、施設に影響する方としております。
0:11:42	9 ページ、三浦ほか 2022、内容の反映後の A 3 火山の活動履歴になります。
0:11:50	伊勢さんの活動履歴について、古い順に、後期更新世の活動を更新世活動期 4 から申請活動期 1、
0:11:59	完新世の活動を監視する活動期とするとともに、主要噴出物ごとの年代、噴出量を示しております。
0:12:06	約 1 万 1000 年前以降現在までにかけて、完新世の小規模噴火も、示しております。
0:12:13	これらの噴火は、小規模で、3 火山の全域に及ぶ規模のものは認められておりません。
0:12:20	最新活動は 1874 年で変更ありません。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:24	伊勢さんは、完新世に活動を行った間であり、施設に影響をおよぼし得る火山であることに変更はありません。
0:12:34	続きまして、10 ページ以降になりますが、こちら、既許可評価で行いました。下が影響評価につきまして、変更がないことの確認結果になります。
0:12:46	11 ページから、原子力施設に影響を及ぼすする火山の抽出になります。
0:12:53	12 ページ、地理的領域内の第 4 紀火山になります。
0:12:58	清さんは、23 番の方になりますが、地理的領域内の第 4 紀火山であることに変更ありません。
0:13:07	13 ページ、3 完新世に活動を行った課題になります。
0:13:11	3 の活動形式、副生花壇だって溶岩ドームであること。
0:13:16	あと最新活動が 1874 年であることに変更はなく、
0:13:20	完新世に活動を行った方であることに変更ありません。
0:13:26	14 ページ、施設に影響を及ぼすする方の抽出結果になります。
0:13:31	3 が、施設に影響を及ぼすする方であることに変更ありません。
0:13:38	15 ページから、充実された火山の火山活動に関する個別評価になります。
0:13:45	16 ページ及び 17 ページは、設計対応不可能な火山事象と施設の位置関係になります。
0:13:53	3 の評価対象となる設計対応不可能な火山事象が、火砕物密度流であることに変更はないということ、こちら、17 ページの方、一覧に示しております。
0:14:09	18 ページ、火砕物密度流、溶岩流の影響評価になります。
0:14:16	伊勢さんの火砕物密度流が敷地周辺に到達していないと考えられることに変更ありません。
0:14:24	19 ページ、火砕物密度流、溶岩流の影響評価のまとめになりますが、内容に変更ありません。
0:14:33	20 ページ及び 21 ページが、設計対応不可能な火山事象の影響評価のまとめになります。
0:14:41	こちら、20 ページに示す通り、予算の設計対応不可能な火山事象が敷地に影響を及ぼす可能性はないことに変更ありません。
0:14:53	はい。22 ページになりますが、こちら、設計対応不可能な火山事象の影響評価のまとめになりますが、内容に変更ありません。
0:15:05	23 ページから、従事された方の火山活動に関する影響評価になります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:13	24 ページ、降下火砕物の影響評価検討対象の選定フローになります。
0:15:20	右上の枠囲みに示す通り、SHDは宇井さんが、将来の発生可能性を否定否定できない降下火砕物として選定されておりますが、
0:15:31	検討対象とはならないことに変更ありません。
0:15:36	25 ページ、敷地及び敷地近傍で確認されている降下火砕物のまとめになりますが、内容に変更ありません。
0:15:46	26 ページ、評価対象となる降下火砕物になりますが、内容に変更はありません。
0:15:54	27 ページ、評価対象となる降下臭い物イベントの選定になります。
0:16:00	3 において選定される噴火イベントが、既往最大であるESHDFワンであること、規模、VEIが3であることに変更ありません。
0:16:13	28 ページ、評価評価対象となる降下火砕物、噴火規模と距離による絞り込みになります。
0:16:21	降下火砕物を伴う、3のESHDFワンの規模、VEIが3であることに変更なく、
0:16:29	航空火砕物の影響評価にて考慮する変更ありません。
0:16:35	29 ページ、国家火砕物の影響評価のまとめになりますが、内容に変更はありません。
0:16:43	30 ページ、国火砕物以外の火山事象の影響評価になりますが、内容に変更ありません。
0:16:52	31 ページ、甲府火砕物以外の火山事象である火山性土石流、停留の影響評価になります。
0:17:01	3 から敷地までには、地理的障害が存在し、火山性土石流等が発生しても、敷地調達する可能性はないことに変更ありません。
0:17:12	32 ページ。
0:17:13	航空火砕物以外の火山事象の影響評価のまとめになります。
0:17:18	3 は、火山性土石流等から発生する飛来物火山ガス及びその他の火山事象が施設に影響を及ぼす可能性はないことに変更ありません。
0:17:31	33 ページ、火山影響評価全体のまとめになります。
0:17:36	時間の個別評価、影響評価に変更なく、まとめの内容に変更はありません。
0:17:42	はい。以上でご説明を終わります。はい説明ありがとうございました。では規制庁側から何か確認事項があれば、個別にお願いします。
0:17:59	説明ありがとうございます規制庁の大井です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:02	私からはですねちょっと
0:18:08	ですね。
0:18:09	まずごめんなさい安定性評価の方ですが、
0:18:17	これですね今回基準、6ページの入力地震動で、
0:18:22	最大加速度が込み見た限りその
0:18:31	S B Oってやつ今回のやつが、すべてテインよりも何か大きいような、最大、最大ですね。
0:18:38	大きいような気がするんですが、今回あんす。安全、滑り安全率や、
0:18:45	堀、
0:18:46	支持力評価とか、
0:18:48	傾斜評価において、すべてなんすかね。
0:18:52	S S B法でやっ。
0:18:54	した場合が、
0:18:55	すべて起票空き許可の評価。
0:18:59	よりも要するに影響はないってということなんです、
0:19:05	ちょっとすいません単純に貸す加速度が大きいのに、
0:19:09	それぞれ影響なかったっていう形。
0:19:12	下に対して、ちょっと
0:19:15	これから結果オーライっていうようなことなんでしょうかちょっとよく
0:19:20	その辺どう、
0:19:22	お考えなのかなっていうのはちょっとありましたら、教えていただきたいと思います。
0:19:30	はい。アール・エス・シーの武内でございます。最大加速度振幅が非常に大きいんですけれども、それぞれの地震動スペクトルがですね、
0:19:42	周期によって大きかったり小さかったりするということで、
0:19:46	建物でもそうなんですけれども、聞く周期と効かない周期ってのがありましてですね、今回のS s - D案だっけね、安定性でいうと、
0:19:58	最大になるのがですね、
0:20:01	例えば滑り安全率ですと、
0:20:04	A F S Bは留萌の地震ですかね、これが一番大きくなってるということで、必ずしも最大加速度振幅だけではなくてそういった周期ごとのスペクトルの大きさによって、
0:20:16	効くものと効かないものがあるということだというふうに考えております以上です。周期ごとのスペクトルということですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:23	はい。了解しました。
0:20:27	もう1点ですが液状化の検討についてと、42ページのところで、
0:20:32	これもちょっと私資料ちょっと読めてないのかもしれないのでちょっと教えていただきたいんですけど。
0:20:38	せん断応力比、
0:20:40	燃えるっていうのはもちろん
0:20:43	このFと、
0:20:48	Rから出してると思うんですが、
0:20:51	これS s、この表、この
0:20:55	左側の
0:20:56	プロット図っていうのは、これは田邊層の、
0:21:03	P e r lを求めて、
0:21:05	それがLの最大値を出しているということですよ。S S B後の、
0:21:10	せん断応力比Lっていうのはごめんなさいと。
0:21:14	見ればよろしいんでしょうかちょっと数教えていただきたい。
0:21:18	すいません、ちょっと説明が悪かって申し訳ありません。まず、図に示しておりますR赤字で書いてあるものは、右側のフロー図における流れの上段の右側の値から出したものでございます。これはいわゆる抵抗力みたいなものでして、
0:21:35	一方左側のフローで出してくるものは、地震力によって生じるせん断応力の大きさ、これを表したものでございまして、
0:21:45	せん断力で荘司庄子他せん断力が抵抗力を上回らなければ以上としないということで割り算をした値が、エスビー、S AからS B4で0.681というふうになっておりましたけれども、
0:22:00	今回のものは、その1を下回る0.623になってるということでございます。以上です。
0:22:08	はい。すいません。ありがとうございます。
0:22:12	あとですね火山の方で私から一つ、
0:22:16	ございまして、
0:22:18	藤。
0:22:20	ちょっとこの知見で、
0:22:23	ですね。
0:22:26	6ページですが、
0:22:30	美優、この

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:33	産総研のですね、三浦ほか 2022 の、
0:22:37	もので、降下火砕物を伴う主要な火砕物の地峡最大はっていうところで、
0:22:44	これ、E S A 1 D 湾ってということなんですけど、
0:22:48	これ詳細に結局、
0:22:52	三浦ほか 2022 であって、
0:22:55	例えば 8、9 ページとかで、
0:22:57	噴出量を見てみると、何かそれ最大、
0:23:01	これをどう見ればいいんですかその P S A 1 D 案ってというのは、0.0079 というふうに詳細にしたせいで何かこう、
0:23:09	小さくはなってるんですけど、
0:23:11	これはどう考え。
0:23:14	証拠の知見を踏まえて、
0:23:20	どういう、どういうその、
0:23:25	火災堆積物のうち既往最大は、
0:23:28	知見を踏まえても、
0:23:30	P S H D はんですよとおっしゃってるわけですよね。
0:23:33	変更ありませんよってということです。
0:23:37	ちょっと質問。はい。すみませんちょっとお考えをお願いします。
0:23:42	はい。
0:23:43	リサイクル燃料貯蔵の寺山です。こちら 9 ページのところに、噴出量が口を噴出目ごとの噴出量を示しておりますが、この資料複数の中でも、降下火砕物を伴う噴出物として挙げられるものが、
0:24:01	上の感染性でいくと、本村火砕堆積物、M P というものがあって、更新せ活動期でいきますと、火災堆積物、E S H D ワンとかあって、
0:24:13	あと同じく活動期 2 とかですと、政治率とか、そういうものがございませす。そういう中で、この中で、噴出量大きいものということで、今
0:24:25	大きいものでいきますと B S M P だとかですと、0.005 っていうふう資料に対して、E S H D ワンですと 0.0079 ということで、こちら E S H D はの方が大きいと。
0:24:39	いうことで、この中の効果性、降下火砕物を伴うもの、噴出物の中で一番大きいものは、この 0.0079 であったということで、
0:24:51	この 0.0079 と噴出量伴う整地地盤を、こちら、一番のもので選定しているということになります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:03	はい、わかりましたありがとうございます火砕物の降下火砕物の中で比較しているということですね。
0:25:09	はい。私から確認したいことは、以上。
0:25:16	すいません。規制庁の仲村ですけども。
0:25:20	ちょっと何点か確認というか、まず評定とスペクトルの方ですね、さっきあった
0:25:27	6 ページですけども、
0:25:30	ここでその一番下のところを、もう数字のところですけど、SSB5 のところで、
0:25:36	697 って、
0:25:39	左の方書かれてるんですけど、
0:25:41	小さい字だけど、これ見ると、661 ってなってると思うんですけど、これ。
0:25:48	違いって何なんでしたっけ。
0:25:51	いや、
0:25:54	リサイクル燃料等のテラヤマです。申し訳ありません。こちらちょっと図の方がすいません。
0:26:01	誤っておりますのでこれ 697 の図、そうですし、はい。同じく、そうですね、ちょっと違う。
0:26:11	はい。M繰り返しさせていただきます。はい。ちょっとそこはわかりませんでした。はい。そのこのところのちょっと修正だけをお願いしたいっていうのと、
0:26:23	あと、
0:26:25	もう 1 点はこれは火山の方の、
0:26:28	見た目だけの話なんですけども、
0:26:32	課長の方で資料で例えばですけど、
0:26:37	8 ページ 9 ページとかってなってる場所ですね、反映前と反映 5 ってやってる、こういうところできれば見開きになってる方が見やすいかなという。
0:26:48	絶対というわけじゃないですか。できればそうしてもらえると見やすいなという、ちょっとお願いだけです。
0:26:55	私からは以上です。はい。申し訳ありません。ちょっと編集の空白を入れて見られるように修正いたします。ありがとうございます。はい。よろしくお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:13	すいません規制庁佐藤ですけども。
0:27:16	えっとね、地盤安定性の方は特に私何も何もコメントないんでもう計算結果そうですかって言うしかないんですけど、
0:27:24	液状化の話って、これ、これはちょっと確認とかではなくて
0:27:31	質問、質問に近いかな、これなんでこれ液状化の話って、飛び出してこんなことやってたんでしたっけ何か。
0:27:42	多分後任の方でも何か液状化の話結構聞かれたような気が、と思うんだけどな、液状化を少し徳田してこういう 11 ページ 12 ページのご説明をいただいたんでしたっけ。
0:27:53	覚えてますか。
0:27:57	ちょっとお待ちください。えーっとですね。
0:28:00	3 ページご覧いただけますでしょうか。ところだよね。
0:28:08	これもですね、上の上から 2 段目の四角の 3 番のところに、周辺地盤の変状ということで、液状化っていうキーワード一つ入っております、
0:28:18	ただしこれ本当の意味でいけば、他発電所等というか、印刷建屋の影響に、最も影響を与えるような項目でございますけどもここに入っておりますので、液状化ということで検討しております。
0:28:31	それから後任の方ではですね、今何だっけ。
0:28:36	いやいやそうじゃない。これなんか、ごめんなさい。植野。早坂颯花田部層田部層のですね検討をここでしてございましたけれども後任の方ではですね、
0:28:50	6ヶ所の検討でいろいろあったということで念には念をとということで、何だ、
0:28:57	砂子又層か、砂子又層についても、検討結果を示しなさいということで、審査の中で、砂子又層の結果についても、結果をお示ししたことがあります。
0:29:12	それはもともと下の方ですね、サトウ結サンプリングによるデータをとっております、その試験結果があったことからそれを参照しながら、砂砂子又層念のために検討したけれども問題ないということ、
0:29:27	ご確認いただいたということです。以上です。
0:29:31	わかりました。じゃあ、結論としては変わってない、ないってことでよろしいですねなんかね、そこは。
0:29:39	はい。江崎です。おっしゃる通りです。
0:29:43	いたしました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:44	あとはこれ、1点お願いでいずれこれ標準応答スペクトル関係のやつは まとめ資料でお出ししていただけたらと思ってるんですが、
0:29:54	前回の前回の資料で、
0:29:57	1点追記をお願いしたいんですけどもまとめ資料提出のときで結構です が、
0:30:03	18区のね、判断基準で、一次オートスペクトルの0.85以上上回るって やつがあったですよ。
0:30:13	目標とする応答スペクトル値に対する盛地震はの応答スペクトル値の比 が全周期体で0.85って、
0:30:20	多分そういうクライテリアがあるんだけど、
0:30:22	そのデジタル値を入れて欲しいんですよ。
0:30:26	数値を入れて欲しいんですよ。
0:30:30	はい。イメージとしては、全周期体で、横1線で、下限のよろしいでし ょうか。次ね。
0:30:40	うん。ツアーの数、85で線入れてもらってるんだけど、その1、数値 が見ミニマムになったところの点あたりのようなイメージ。
0:30:51	理解いたしました。はい、承知いたしました。それを追記していただく ようお願いいたします。
0:30:57	あと火山の方は、火山の方は、特にこれ、
0:31:02	新しい知見を踏まえても、特に影響しないっていう結論はわかりまし た。
0:31:10	最後のその噴出量の話さっきもありましたけど、
0:31:14	噴出量は結局んと。
0:31:18	このE S A
0:31:21	S Hがファンでしたっけ。
0:31:26	これは前回の時は、
0:31:30	評価していたのかな、どれぐらいだっけ。
0:31:33	いや、
0:31:36	8ページと9ページがちょっと見開き、本当は見開きの方がいいんだけ ど8ページ9ページを比べてみるとですね。
0:31:44	結局分資料って、E S H D W A Nっていうのが、ちょっと大分す。
0:31:51	少なくなってるんですかこれ、これ、見方をちょっと教えて欲しいんで すけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:57	はい。リサイクル燃料貯蔵の寺山です。まず8ページなのですが、8ページはですね、このE C Tをこの表とか、A3の活動履歴の表のところで、
0:32:09	S s - Dは単独で封水量は示しておりませんでした。こちらはですねちょっと他の課さんとかの表記との横並びとる中で、そこまで細かく分類して示してはおりませんでした。
0:32:22	ただ、この内訳として、E S H D O n eが噴出量で一番大きかったことは把握し、当時も把握しておりまして、それが既往最大という評価を当時もしております。
0:32:35	で、今回9ページの方で参加残置数を含めて、こちら活動履歴の方にそれ反映したのですが、そちらの封水量がちょっと最大I S Aシーディーワンが最大であるってことをちょっとより明確に示すためにちょっと細かく
0:32:51	後を示しておりまして、これで見えていただきますと、E S H D ワンが邦貨臭い物を伴う噴出率としては最大ということが、ちょっとこの数字ではか、示されたということで記憶から変わらないということで考えております。
0:33:09	はい佐藤ですけどもそうすると8ページはあれですか。
0:33:12	この噴出量は、後期中期を合わせたもので1. 何ぼから1.2とか3とかなるんだけどそれがこの右側の
0:33:22	噴出量年代階段ダイヤグラムに書かれているというそういう理解でよろしいですか。それで一方今回の新知見では、9ページになりますけども、
0:33:32	それぞれの活動期っていうのを細分化して、なおかつそれぞれのそのイベントに対する噴出量を、三浦さんが見積もったという、それが右側の階段ダイヤグラムに反映されていると。
0:33:47	その中でも一応、E S H D ワンっていうのが大きいんですかね大きい。
0:33:53	いいですか、やっぱり。
0:33:56	大きいことに変わりがないというそういう意味ですか。
0:33:59	はい。リサイクル事業とテラヤマですね、ご理解の通りになりまして、ちょっと9ページ、活動履歴及び大学グラフで見ても、
0:34:10	その中で、一番大きいものがちょっと精緻リーマンっていうところで、それは8ページの段階では前でも考えていたことと変わりはないということで、ちょっと考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:24	9 ページ、すいません 9 ページのこの階段ダイアグラムだとね、E S H D ワンってイベントがあるところの、
0:34:31	噴出量見ると、一番大きくはなってないんだけど、
0:34:37	えーとですね、こちらですねこれはですねこの階段ダイアグラムに書いてるものは、等ですね、政治ではこの 32 万年ぐらいのところで書いているものは、
0:34:51	この S E D わんっていうものと、S K 者と P D っていう降下火砕物を伴う噴出の前にできる溶岩ドームとかで出る。
0:35:03	噴出量、表でいきますと、0.047 とか 0.05 という値があるかと思うんですが、それと、0.007 キロを足し合わせたものを示しております、
0:35:14	ちょっとこの赤いもので比べると、こっちが最大にはなってないんですけど、ここでちょっと最大として見ているものは、この左の利益の表の中の、
0:35:24	0.0079 というこの数字でもって判断しております。
0:35:31	わかりました。だからこれあれか、合算したんだからこの講師。
0:35:35	更新世活動期 1 っていうのをこれ合算したんだ。溢水量、なるほど。はい。そうですね。はい。
0:35:43	他しました。
0:35:47	何か注釈でもつけてるところがいいかもしれないですよ。グラフの方に対応しないといけない。そうですね。うん。なんかこれ国会に誤解を与えるような感じもしないわけではないですね、これね。了解しました。
0:36:05	んナガイですけども、同じところで私もちょっと確認これ E S って始まってないものは、
0:36:11	かつ、降下火砕物を含んでないっていう理解でいいんですか。
0:36:17	すいません、イエスってついてない。そうですねそういう。はい。一昨年ジョウチョテラヤマです。この五つついてない物保管、溶岩と他のものはちょっと溶岩ドームの形成での噴出物になりまして、
0:36:30	そちらはこっ火砕物ん含んでないということでそちらは、選定から外しは入れ設定には入れておりません。
0:36:39	はい。それではっきり理解できました。で、8 ページの比較とでちょっと確認をしたいんですけども、8 ページの方だったら書記っていうのは実質これなくなっ。
0:36:51	てるっていう理解でいいんですかね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:54	そのあと主要フィッティングとの比較で見ると、
0:36:57	対応するのが見えないんですけど、
0:37:01	えっとですね、リサイクル燃料貯蔵をテラヤマで、えっとですね 9 ページに示されてる、初期の小規模噴火の完新世の小規模噴火につきましては、この 2000、三浦ほか 2022 の、ちょっと新たにできた試験ということになりまして、
0:37:18	その前の段階ではですねちょっとそういう知見がありませんでしたので、こちら 8 ページの表にはその記載は、ないことにしておりますことになっております。
0:37:37	はいわかりましたで、あとちょっと火山と、安定性評価の資料を比較してっていうのもあるんですけども、これちょっとここ、こちらから新鹿の提案に近いんですけど、
0:37:49	安定性の 8 ページだったりとか、13 ページ 14 ページ。
0:37:56	ていうのは、基本的には既許可の内容をほとんど書いてますよね。
0:38:02	そのまとめ資料から大きく内容変わってないわけですよ。
0:38:05	ここを右上
0:38:08	さっきほかに過失とかそういうのをつけたらいかがですか。
0:38:13	はい。工夫したいと思いますありがとうございます。
0:38:18	はい。他のページもそういうのがあれば基金やっていただいたのを、
0:38:23	もともとの評価と変わってないところが、何らかでもっと明確にした方がいいと思いますので、そこはお任せいたします。あとちょっと後半の方にある参考資料のところちょっと事実確認させていただければと思ってるんですが、
0:38:40	基本的には支持力とか、底面の傾斜っていうのは、これ移送にかかわらず、
0:38:47	単純にそのピークをたたいているという理解でよろしいですかね。
0:38:52	というのは、位相がプラスプラスとマイナスマイナスとかで比較する同じ時間を出てるし、
0:38:58	プラマイマイナプラスもほぼ同じ時間出てるので、
0:39:02	そういうふうにとらえたんですけどそういう理解でいいんですよ。
0:39:07	はい。田川佐口ですおっしゃる通りです。はい。時刻歴でやったものについては右か左からという表現が正しいかどうかわかりませんが
0:39:19	磯が判定するということで、そのやった結果をすべて記載しておこうかと思ってここに載せた次第でございます。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:29	その載せていただいて非常にありがたいというのと、その中身を理解するのに聞いたというところだけですので、その問題があるかという聞いたわけではないので、
0:39:40	そこはご理解ください。
0:39:42	私からは以上です。
0:39:45	はい、ありがとうございました。
0:39:47	佐藤ですけどももう1点、
0:39:50	南岸サイトはね、前の許可時の時には一通り全部終わったら参考までに入力地震動、下から上に上げた時にその変な増幅とかないですよっていうのを、
0:40:04	確認するために、一番最後につけていただいたと思うんですけども、
0:40:09	このSSBVについては、何かそそういう図とかは、今回入ってはなかったような気がしますが、
0:40:18	ここはやってますか、いませんか。
0:40:22	うちの審査の所掌の範囲ではないんですけどね。
0:40:32	すいませんちょっと前回の資料がですねちょっとつけたかつかない記憶がないんですけども、一応その下から地震基盤から下上げた結果が、
0:40:43	もし前回の内容であれば、本編に盛り込むか参考2を盛り込むか、一部付け加えたいと思います。以上ですありがとうございます。
0:40:55	すいませんサトウで参考で結構です参考です。
0:41:01	はい、承知しました。
0:41:09	はいいう形ですけども1点だけちょっと教えていただきたいんですが7ページ8ページでね、一番小さいものを評価してるじゃないですか。これ既許可の時にはちょっとどういう議論があったか知りたくてですね
0:41:21	結局、XX断面とY断面ってそれぞれ戻りが違うので、XとY組み合わせが一番ちっやいのがこれですっていうのはあんまり私意味がないと思うんですけども。
0:41:36	すいませんちょっと今質問にはちょっと力を切れなくて申し訳ございません。例えば7ページでXX断面とY断面ってあって、それをごちゃまぜにして一番小さいのが2.1ですという説明をされてますよね。
0:41:50	それをベースにマイナス1σしたのを、8ページに示し、示していただいているんですけども、結局その建物の形状とかですね地下のモデルの二次元のモデルの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:02	もう違うので、一番小さいものを選ぶ理屈があんまりよくわからないんですけれども、これどういう理屈でこれを選んですか。
0:42:11	私どもとしてはですね、
0:42:16	今、ご指摘の通り、建屋幅も違いますし、それから2次元のモデルの断面も違いますんで、両方やった上で、
0:42:28	本来であれば全部について不確かさをやればいいのかもかもしれませんけれども、最も安全率が低くなるものに対して、さらに地盤の物性をですね、動かして、
0:42:40	上に一番小さかったものがさらにどこまで小さくなるかということで、1.5まで下がっても、基準は満足しているということで今ご説明を差し上げたつもりだったんですが、以上です。
0:42:52	はい。その時にね確かに一番小さいものが2.1っていうのはY断面で出てくるんですけれども、少なくともx x断面でも一番小さいものに対してマイナス1σした結果を載せないで。
0:43:04	本来は、比較にならないと思うんですよね。
0:43:16	すいませんご趣旨は理解しました。ちょっと計算結果があるかどうかですね、確認をして、可能であれば記載をするようにいたします以上です。
0:43:25	はい、わかりましたそういう意味では、本来はX X断面Y断面をそれぞれ一番小さいものにアンダーラインを多分引くべきかなと思っていたので、それもできればお願いします。
0:43:38	はい、承知しました。
0:43:43	はい。大体以上のようなんですが、そちらから何かありますか。
0:43:51	ございません。
0:43:56	えーっとですね本件、審査会合20日にしたいんですが、若干資料の修正あるかと思えますけれども間に合いそうですか。
0:44:07	はい。準備いたします。
0:44:10	はい、じゃあえーとですね、大体今、ご説明は、15分ぐらいでしたっけね。
0:44:16	そのぐらい見とけばいいですか。
0:44:19	両方で十分あればいいな。
0:44:25	そうしましたら10分から15分ぐらいで説明させていただきたいと思えます。はい。一応15分ということで承っておきますので資料の修正を

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	していただいてですね、またこちらの事務、窓口にですねご連絡をいただければと思いますのでよろしく願いいたします。
0:44:43	はい。そうしましたありがとうございました。
0:44:47	はい。ほかになければ以上にしたいと思いますがよろしいですか。
0:44:52	はい。
0:44:54	はい。以上にしたいと思います本日お疲れ様でしたありがとうございました。
0:45:00	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。